

県協会と5事業者に 廃棄物撤去で感謝状

県

県は2日、不法投棄されていた「廃棄物の山」を撤去(3月)したことに對し、県環境産業振興協会(松沢博三会長)と県内の5事業者に感謝状を贈呈した。知事室で感謝状を贈った上田清司知事は「不法投棄が1カ所でもあると、どんどん増える。素早い撤去に感謝します」と述べた。

感謝状は同協会をはじめ、熊谷市で廃タイヤなどを撤去した国分商会(熊谷市、椎名仁郎代表)、さいたま市緑区で一般廃棄物などを撤去したイタバシ(さいたま市岩槻区、犬飼昭一代表)とジエップ(さいたま市見沼区、君島憲児代

表)、越谷市で一般廃棄物などを撤去したケイ・エム環境(三郷市、宮田仁史代表)とアルファサポート(伊奈町、



上田清司知事(右から3人目)から廃棄物の撤去で感謝状を贈られた県環境産業振興協会の松沢博三会長(同4人目)と各事業者代表
112日、知事室

福田寛栄代表)に贈られた。県と市町村、同協会では放置された廃棄物の火災や崩落などの危険を除去するため、共同で基金を積み立て、撤去事業を行っている。松沢会長は「他県から持ち込まれるケースもあるが、埼玉県の環境のために引き続き協力していきたい」と話した。

(砂生敏二)